

全日本実業柔道団体対抗大会報告書

男子は日本中央競馬会が

15年ぶり2度目の優勝
女子はコマツが3年連続7度目のV

厚生労働大臣杯争奪第59回全日本実業柔道団体対抗大会は、6月6日(土)、7日(日)の両日、数多のスポーツ大会やイベント開催で名高い「福岡市民体育館」において開催された。参加チームは112チーム(男子95、女子17)。今年の世界選手権ロッテルダム大会代表選手も参加し、試合の選手達の白熱した戦いに呼応して、観客の大声援が館内をこたえました。

開会式では、年間最優秀選手の表彰があった。男子選手に贈られる永野重雄杯は、アテネ、北京オリンピック連続の内



開会式であいさつをする阿南惟正副会長



開会式であいさつをする上村春樹全柔連会長

柴正人選手(旭化成)が受賞し、女子選手への宮崎輝杯は、同じく2大会連続制覇に輝く上野雅恵選手(三井住友海上火災保険)と谷本歩実選手(コマツ)の両名が受賞。同時に功労賞(15回出場)の表彰も行われた。(別記参照)

初日は、男子第三部と女子第一部の試合が行われ、男子第三部は圧倒的な強さで勝ち上がった開催地特別参加の福岡県警察が、決勝戦でも東芝Aに圧勝した。

女子第一部は4チームによるリーグ戦で行われ、コマツが岩田千絵選手や世界選手権代表の渡邊美奈選手等の活躍で3戦全勝し、3年連続7度目の優勝を果す。準優勝は自衛隊体育学校と1勝1敗1分同点ながら内容差で優れた三井住友海上

火災保険。

二日目は、男子第一部、同第二部と女子第二部の試合が行われた。男子第一部は日本中央競馬会が旭化成Aと決勝戦を争い、日本中央競馬会の佐藤選手が、旭化成Aのポイントゲッター高井選手の猛攻撃をしのぎながら、一瞬の見事な内股すかしで貴重な得点をあげて、15年ぶり2度目の優勝を果たした。

男子第二部は精鋭を揃えたセコムが、決勝戦で大将戦までもつれる白熱戦を演じるも、結果2-1で日本通運を降して第二部で2度目の優勝を果たす。この2チームに加え、準決勝進出の戸高鋳業社、九州電力の4チームが来年の第一部出場権を獲得した。



開会式で歓迎のあいさつをする麻生 渡福岡県知事



選手宣誓をする生田秀和選手(ALSOK総合警備保障)

女子第二部は昨年の優勝チーム了徳寺学園と初出場のフォーリーフジャパンとの決勝戦になり、昨年と同様、今年も代表戦での決着となる接戦を演じた結果、フォーリーフジャパンが了徳寺学園を降して初優勝を遂げた。

尚、来年度は第60回大会として、6月5日(土)、6日(日)の二日間、東京都足立区の東京武道館に於いて挙行される。

功 勞 賞 (15回出場)

小山 敬上 (大阪ガス)
中山 幸久 (大阪ガス)

男子第一部

日本中央競馬会15年ぶり2度目のV、
中堅佐藤、一瞬の内股透しで
高井から一本を奪う殊勲の金星

決勝戦は日本中央競馬会と旭化成Aとの対決。両者はそれぞれ準決勝戦で、日本中央競馬会は旭化成Bとの1対1による代表戦を立山の一本勝で退け、旭化成Aは宿敵新日本製鐵を1-0で降して決勝戦進出。共に準決勝戦を苦しみながら



佐藤、内股すかしで見事な一本

勝ち抜いた両雄の対戦となった。尚、試合時間は男女とも第一部は5分。(その他の部は4分間。)

先鋒戦は、体重差40kgの巨漢大鋸が山の奥襟を掴み、盛んに攻めるが、姿勢の悪い山本は崩れず。山本はやや劣勢ながらも、背負投や巴投で反撃する。大鋸、攻め切れず引分けとなる。

次鋒戦。ケンカ組み手の引き手争いから、高井は右引き手を取れず、やむなく佐藤の前襟を持って左大内刈・左内股で攻める。高井を上回る体躯の佐藤は、再三ぐらつきながらも良くこれをしのぐ。高井優位の中で迎えた3分15秒、高井が右引き手で前襟を掴み、左釣手を佐藤の右腕の付け根の辺りを握って大内刈から内股で跳ね上げようとした一瞬、佐藤がこれを見事に透かすと高井は空を切って横転し一本。佐藤は思わずガッツポーズ。会場は割れるような大歓声に包まれる。

中堅、左組み同士の両者は自らの組み手に拘り、組み合わないまま試合が進む。泉は組み際にカウンター気味の体落、一本背負投等を仕掛けるが、片測もこれを見極めてよく防ぐ。泉が優勢に進めながらも決め手を欠き、引分。

巨漢立山と齋藤との体重差60kgの副将戦。巨体に立ち向かう齋藤は果敢に内股で攻めるが、立山には通じず。中盤、両者に指導が与えられて間もなく、齋藤の肩車が空を切り、齋藤が伏せたところを立山が横四方固で一旦抑え込む。万事休

すと固唾を飲む瞬間、齋藤は執念を見せ、辛うじて12秒で逃れる。試合はその後動き無く、立山が1点のリードを守り切り、大将戦にバトンを渡す。

大将戦。右組み同士の戦いは、リードを許している旭化成Aの木村が積極的に前へ出る。しかし、ガードを固めた鈴木は木村に攻撃の糸口を与えず、逆に時折、右の小内刈で木村を揺さぶる。はやる木村は最後まで攻め続けるが、鈴木は牙城

を崩せず。鈴木はリードを守り切ってプザー。

手に汗握る両雄の攻防は、次鋒戦の内股の攻防がその明暗を分け、日本中央競馬会が15年ぶり2回目の日本一の栄誉に輝く。試合場の選手と選手控え席の監督、コーチ等は一斉に喜びに沸き返った。

優勝監督コメント

日本中央競馬会 賀持道明

今回の優勝は、日頃から仕事と柔道の両立に妥協することなく厳しい稽古に対し一生懸命取り組んだ結果だと思えます。試合を振り返って見ると、全て接戦であり、苦しい場面では皆が声を掛け合い力を合わせ必死で戦ったことが優勝に結び付いたと思います。

私自身、現役時代に優勝を経験しましたが、今回の優勝は監督として在籍部員5名と、チーム的に苦しい状況での優勝(15年ぶり2度目)であり、また違った意味で感激しました。

最後に、このような貴重な経験が出来るのも会社の理解と協力があつたからであり、この優勝を励みに謙虚さを持って今後さらに厳しい稽古を積んで次の試合に臨みます。

選手には本当に感謝しています。



男子第一部優勝 日本中央競馬会チーム

男子第一部成績表

優勝 日本中央競馬会
 準優勝 旭化成 A
 第3位 旭化成 B
 第3位 新日本製鐵



九州電力、東レ滋賀、京葉ガス、日本通運の4チームは
 次年度第二部に降格する

【準決勝】

第1試合

旭化成 B 1-① 日本中央競馬会
 ○田中貴大 3段 裏投 片渕慎弥 4段
 出口雄樹 3段 —×— 佐藤充弘 4段
 角地信太郎 5段 合せ技 立山広喜 4段○
 野田嘉明 3段 —×— 山本宜秀 4段
 谷口 徹 3段 —×— 鈴木 龍 4段
 野田嘉明 3段 合せ技 立山広喜 4段○
 (代表戦)

第2試合

新日本製鐵 0-1 旭化成 A
 西山将士 4段 —×— 齋藤制剛 4段
 森田祥一 4段 —×— 高井洋平 4段
 齋藤 俊 3段 —×— 松山 毅 4段
 高橋和彦 4段 上四方固 木村 純 3段○
 吉永慎也 4段 —×— 泉 浩 4段

【決勝】

日本中央競馬会 1-0 旭化成 A
 山本宜秀 4段 —×— 大鋸 新 5段
 ○佐藤充弘 4段 内股すかし 高井洋平 4段
 片渕慎弥 4段 —×— 泉 浩 4段
 立山広喜 4段 —×— 齋藤制剛 4段
 鈴木 龍 4段 —×— 木村 純 3段

平成20年度 年間最優秀選手



(宮崎 輝杯)
 谷本歩実 (コマツ)

(永野重雄杯)
 内柴正人 (旭化成)

(宮崎 輝杯)
 上野雅恵 (三井住友海上火災保険)

優秀選手

〔男子〕

第一部
 立山広喜 (日本中央競馬会)
 佐藤充弘 (日本中央競馬会)
 木村 純 (旭化成 A)
 田中貴大 (旭化成 B)
 森田祥一 (新日本製鐵)
 坂本雄大 (セコム)
 青木勝士 (セコム)
 影野裕和 (日本通運)
 大熊将史 (日通通運)
 嶺 直樹 (九州電力)
 江藤大暁 (福岡県警察)
 後小路裕朗 (福岡県警察)
 青山正次郎 (福岡県警察)
 當眞和希 (東芝 A)
 中山 修 (東芝 A)

〔女子〕

第一部
 渡邊美奈 (コマツ)
 岩田千絵 (コマツ)
 山岸絵美 (三井住友海上火災保険)
 立山真衣 (三井住友海上火災保険)
 宮本樹理 (了徳寺学園)
 今井優子 (了徳寺学園)

男子 第一部

精鋭を揃えたセコムが順当に勝ち上がり、

第二部で2度目の優勝を飾る

健闘空しく敗れた日本通運も

1年で第一部に復帰を果たす

参加チーム数20チームによる戦いを制して決勝戦に進出したチームは、共に緒戦から安定した戦いで順当に勝ち上ったセコムと日本通運の両雄。

歴戦のベテラン落合と日本通運期待の新人三山との先鋒戦。ケンカ組み手の中の落合が奥襟を取って左からの内股・大内刈で三山を攻める。受ける三山に指導。

その後、三山は得意の背負投を連発、猛反撃を開始。しかし、残り16秒、三山が右小内刈を仕掛け、逆に体勢が崩れたところを落合が力任せに畳に叩きつけるように倒して有効を奪う。そのまま寝技の攻防に入るが時間終了。

次鋒戦。青木対河野の一戦は、試合時間の殆どを組み手争いに終始。終盤に入り、組み勝った青木の攻めに防御を余儀なくされた河野に3分15秒指導。しかし、その後は両者再び組み合わず引分。

中堅戦。増田左、影野右の組み手争いが続くが、増田やや攻勢の中、増田の仕掛けた左払巻込が潰れ、畳に伏せた所を影野が強引に右手で増田の太股を引き上げ、そのまますくい投で裏返して一本(2分22秒)。

副将戦はリードされた坂本の猛攻で始まるが、序盤は長谷川の巧みな試合運び

に、坂本は勝機を得るに到らず。しかし、徐々に坂本が奥襟を制し始め、場外際の攻防中、坂本は握っていた右奥襟を切られると、直ちに右釣手を長谷川の右の前襟(片襟)に持ち替えて、下がる長谷川に右大外刈を仕掛け、前傾姿勢から左膝を着いて鋭く刈込むと、長谷川は仰向けに倒れ一本(1分32秒)。

大将戦。ケンカ組み手の両者、右組みの柴田の組み手優位のまま試合が進行するが、追う日本通運大熊は低い体勢から攻撃を仕掛ける。しかし、組み手争いが続いて2分40秒に双方に指導。その後、柴田は強引に大外刈で攻めるが決まらず。しかし、終盤に入ると柴田は無理をせず、リードを守って時間。セコム、11年振り2度目の優勝成る。

優勝監督コメント

セコム総監督 古田昌直

■ 昨年は、第一部で初戦敗退を喫し、第二部降格という悔しさを味わいました。その悔しさをバネに、今年は第二部で絶対優勝しようという信念を持ち、日々の練習に精進してきました。普段の練習拠点は各々の母校となつていますが、定期的に全員集まって練習を行ったり、ミーティングを開いたりして、個々のレベルアップとともに、チームの結束力強化に努めました。その結果、今大会では終始素晴らしいチームワークを発揮してくれました。各選手の活躍は勿論ですが、そのチームワークの良さが大きな勝因だったと実感しています。11年振りの第二部優勝となりますが、久々の歓喜を味わわせてくれた選手達を称えたいと思います。



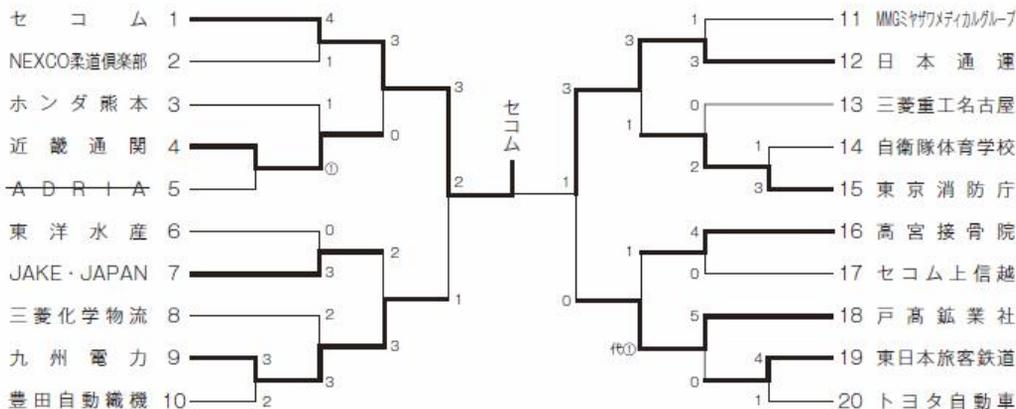
男子第二部優勝 セコムチーム

【決勝】

セコム	2-1	日本通運
落合雄太	4段 有効	三山悟司 3段
青木勝士	3段 ×	河野勇人 3段
増田圭省	3段 すくい投	影野裕和 3段○
○坂本雄大	4段 大外刈	長谷川 賢 3段
柴田 真	3段 ×	大熊将史 3段

男子第二部成績表

優勝 セコム 第3位 九州電力
準優勝 日本通運 第3位 戸高鉱業社
以上の4チームは次年度第一部に昇格する



男子第三部

開催地特別参加の福岡県警察が
実力を遺憾なく発揮して優勝
激戦を勝ち抜いた東芝Aは
決勝戦で力尽きる

63チームでの優勝争い。内、開催地特別参加は9社11チーム。決勝戦は強豪東芝A対警察柔道界の雄、福岡県警察との決戦。両チームは準決勝戦でそれぞれ日本エースサポート、まるや接骨院を共に一蹴して決勝戦に進出。

先鋒戦。丸山右、川波左のケンカ組み手。引き手を争う展開から、39秒、川波に袖口注意の指導。1分13秒と3分15秒には、技の出ない丸山に指導(指導2)。その後は、丸山が小内刈、左一本背負投で反撃が出るが、今一歩及ばず、福岡県警察が先勝。

次鋒戦は、共に右組みの両者、開始早々から奥襟を取って攻撃態勢を取る。徐々に富松の組み手が優り、引き気味となった富真に1分20秒指導。しかし、1分38秒、富松が奥襟を抑えてがむしゃらに出た所、富松の脇が甘く開いて隙が生じた瞬間を逃さず、富真は富松の脇下に左腕を差し入れ、続いて腰を入れて思い切つてすくえば、富松は富真の腰に乗って大きく回転して落ちる。

中堅戦は、江藤の不戦勝となる。

副将戦は、ともに左組み同士の対戦。やや上背の劣る後小路は胸を張った堂々たる姿勢から思い切りの良い大外刈、内股を繰り出す。1分丁度には、後小路は



男子第三部優勝 福岡県警察チーム

引き手で中山の内袖を握り、体落気味の足さばきから大外刈に切つて落とし、鮮やかな一本勝。
大将戦。巨漢青山は、開始15秒に60kg以上も体重の劣る中根が無防備に組むところを右内股で有効を奪う。その後、中根は堂々と組み合せて反撃に転じる。ところが、がっぷり組む中根に青山は体重を利して、1分9秒右支釣込足で捻り潰すように転がして技ありを奪う。そのまま横四方固で合せ技一本。
例年ベスト4が第二部昇格となることから、第二部と第三部のチーム数は正のため、今大会では準々決勝戦に進出したベスト8のチームが来年度第二部に出場する。

男子第三部成績表

優勝 福岡県警察 第3位 まるや接骨院
準優勝 東芝A 第3位 日本エースサポート
ベスト8のチームは次年度第二部に昇格する

【決勝】

東芝A	1-4	福岡県警察	丸山兼矢	3段	(指導2)	川波達也	4段
○富真和季	3段	大腰	富松泰士	4段	江藤大暁	4段	
中山修	4段	不戦勝	後小路裕朗	4段	後小路裕朗	4段	
中根慶太	3段	大外刈	合せ技	青山正次郎	4段	青山正次郎	4段



女子第一部

コマツ、宿敵三井住友海上を降し、3年連続7度目の優勝を飾る

第2試合 三井住友海上対自衛隊体育学校
先鋒戦。左大外刈、左体落で攻める山岸が、1分52秒に小島のフエイントからの右小外掛を外し、畳に転がして上四方固で固め一本。次鋒戦は、徳久右、広村左の組み手から立ち技、寝技の応酬が続くも、決め手無く引分。中堅の上野(順)、平井戦は共に左組みから激しい攻防が続く。上野が押し気味に試合を進めながらも、後一歩及ばず引分。上野(巴)左、國原右の副将戦はそれぞれ得意技を連発するが、共にポイントを取えず引分。大将戦。序盤に指導を受けた長身高橋は中盤過ぎに右内股を連発。2分59秒に勢い込んで執拗に掛けた内股を場外付近の池田が狙いすまして透かすと、高橋は大きく回って一本。

第4試合 コマツ対自衛隊体育学校
先鋒戦。序盤は広村を攻めあぐんだ岩田だが、1分6秒、組み手を持つや否や内股で左足を大きく上げながら前に回転して有効を奪う。そのまま崩壊固(後袈裟固)で抑えてコマツ幸先良い一本勝。次鋒戦。小島は1階級上の宇高の猛攻をよくしのいで引分ける。中堅戦。渡邊右対平井左のケンカ組み手の両者、試合時間の大半を組み手争いに終始して引分。副将戦。同一階級、右組み同士の対戦は、やや國原の人数が優るが、互いに技の効果が無く引分ける。大将戦。一回り大きな杉本の右からの攻めをしのいだ左の池田も、時間と共にスタミナが消耗。遂に

3分6秒、杉本の得意の払腰に宙を舞う。

第6試合 三井住友海上対コマツ
先鋒戦。激しい組み手争いから組み手に得意技の応酬が続く。技が潰れての寝技の攻防も互いに譲らず。両者、激しい攻防を続けるが引分。次鋒戦。宇高右、中村左のケンカ組み手。中村は小外刈、体落、及びその連絡技で宇高を攻めるが、宇高は難なくこれを防ぐ。引き手を支配した中村が優勢に進めるもポイントを取えず引分。中堅戦の両者は、序盤から引き手を求めて激しく動く。上野(順)は得意の低い左体落で岡を攻めるが、後一歩足りず。1分15秒、技の出ない岡に指導が与えられるが、後半になって岡にも動きが出始め、相譲らぬ攻防の中、プザーが響く。右組み同士の副将戦。2階級上回る渡邊は32秒に片襟からの左袖釣込腰か



女子第一部優勝 コマツチーム

ら巻込んで技ありを奪う。2分15秒、反撃をあせる徳久に、渡邊が下がりがつつ右組から低い左一本背負投で一本。大将戦。ケンカ組み手。上野(巴)は体重差に臆せず左で堂々と組み、体落で攻める。杉本はがっちり組んで右内股、右払腰の大技を狙う。中盤を過ぎて両者の動きが弱まり、3分45秒に双方に指導。終盤は杉本が攻勢を強めるも決定打を欠き引分。

優勝監督コメント

コマツ 松岡義之

今年初めの3連覇を目指して本大会に臨み、苦しみながらも目標を達成出来たことに満足している。

自衛隊体育学校戦では岩田千絵と杉本美香が、三井住友海上火災戦では渡邊美奈が勝利を引き寄せる活躍でチームに貢献した。

激しい戦いを予想していたが、終わってみれば失点なしでリーグ戦を全勝し完璧な優勝を果たすことが出来た。更に攻めの柔道を貫き、来年は4連覇を目指したい。

【主な対戦結果】

三井住友海上	1-1	自衛隊体育学校
○山岸絵美 2段	上四方固	小島愛子 2段
徳久 瞳 2段	×	広村麻衣 2段
上野順恵 2段	×	平井 希 2段
上野巴恵 2段	×	國原頼子 2段
高橋千尋 2段	内股すかし	池田ひとみ 2段○
コマツ	2-0	自衛隊体育学校
○岩田千絵 3段	合せ技	広村麻衣 2段
宇高菜絵 2段	×	小島愛子 2段
渡邊美奈 2段	×	平井 希 2段
岡明日香 3段	×	國原頼子 2段
○杉本美香 2段	払腰	池田ひとみ 2段
コマツ	1-0	三井住友海上
岩田千絵 3段	×	山岸絵美 2段
宇高菜絵 2段	×	中村美里 2段
岡明日香 3段	×	上野順恵 2段
○渡邊美奈 2段	一本背負投	徳久 瞳 2段
杉本美香 2段	×	上野巴恵 2段

女子第一部成績表 (リーグ戦)

	ヤックス ゲアサビス	コマツ	三井住友海上	自衛隊体育学校	勝 ●●●●●	負 ○○○○○	順位
ヤックス ゲアサビス	△	△	△	△	0勝3敗	0-13-2	4
コマツ	○	△	○	○	3勝0敗	8-0-7	1
三井住友海上	○	△	×	×	1勝1敗1分	5-2-8	2
自衛隊体育学校	○	△	×	×	1勝1敗1分	5-3-7	3

女子第二部

初出場のフォーリーフジャパンが 代表戦を制して初優勝

エントリーは13チーム。決勝戦は、優勝候補筆頭の了徳寺学園と有力新人立山選手を擁し、その立山の活躍で勝ち上がったフォーリーフジャパンとの決戦となった。

先鋒戦。宮本左、栗野右のケンカ組み手。宮本は腰を入れた高い位置からの左内股で攻めるが、栗野は腰をぐつと張ってこれをこらえる。一方、栗野は右組みから左の一本背負投、右背負投で宮本を攻めるも、宮本は難なくこれを残す。終盤まで両者互いに攻め合うが、ポイントを上げるに至らず、引分。

中堅戦。両者右組み同士ながらも今井が中川の奥襟を制し、序盤から内股、一本背負投で激しく攻める。31秒に中川に指導。その後、丁度1分に今井は右内股と見せての右小内刈で技ありを奪い、そのまま崩壊姿固に抑え込み、合せて一本。

大将戦は、双方とも右組みながら体重差の著しい両者の対戦。川崎は左右の背負投、体落で攻めるも、圧倒的な体格差により次第に防御の姿勢となり、34秒には消極的指導。立山は1分20秒に川崎の体落を後ろに潰してのし掛かり有効を奪

う。そのまま寝技に移行して1分26秒に縦四方固で抑え込む。立山が勝負をタイに持ち込み、代表戦での決着となった。

代表戦には、了徳寺学園は今井を、フォーリーフジャパンは立山を送る。今井左組み、立山右組みのケンカ組み手の両者の決戦は、中堅戦で激しい攻めを見せた今井だが、圧倒的な体格差により攻撃の糸口を掴むことができない。一方の立山も、序盤は今井を攻めあぐむ。両者、1分28秒指導を受ける。しかしその後、立山は強引に右ふくらはぎを今井の太股に当てて、左に半周回りながら、次第に身体を密着させ、1分43秒、遂に今井を捕えて豪快な払腰を決める。エース立山の一本勝で、フォーリーフジャパンが初出場、初優勝を決める。

了徳寺学園は、昨年に続き決勝戦の代表戦で惜敗を喫す。

優勝コメント

フォーリーフジャパン部長 藤熊 淳

半世紀を超える歴史のある本大会において、初出場ながら優勝という栄冠を勝ち得たことを大変うれしく思います。弊社柔道部は、2009年4月に創部したばかりです。創部時の目標のひとつに団体優勝を掲げており、それが早々に実現できたことはこの上ない喜びです。今後は今回の結果に慢心することなく、津沢師範の指導の下、日本柔道の発展に貢献できる選手の育成に努める所存です。



女子第二部優勝 フォーリーフジャパンチーム

女子第二部成績表

優勝	フォーリーフジャパン	第3位	セコム
準優勝	了徳寺学園	第3位	ワイエスフード

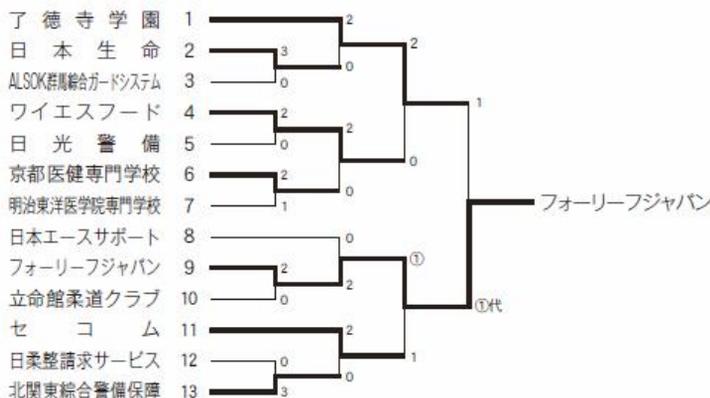
【準決勝】

了徳寺学園	2-0	ワイエスフード
○宮本樹里 2段	合せ技	金田志寿香 2段
○今井優子 3段	合せ技	久保美聡 初段
川崎由紀 3段	—×—	北田裕美子 3段

フォーリーフジャパン	①-1	セコム
栗野寿子 3段	—×—	河田恵理佳 3段
中川友紀子 3段	(指導2)	植木順子 2段②
○立山真衣 3段	縦四方固	鳥谷部真弓 3段

【決勝】

了徳寺学園	1-①	フォーリーフジャパン
宮本樹里 2段	—×—	栗野寿子 3段
○今井優子 3段	合せ技	中川友紀子 3段
川崎由紀 3段	縦四方固	立山真衣 3段○
(代表戦)		
今井優子 3段	払腰	立山真衣 3段○



第59回全日本実業柔道団体対抗大会レセプション開催

6月6日(土)、18時30分より博多エクセルホテル東急舞鶴の間において、第59回全日本実業柔道団体対抗大会レセプションが盛大に行われた。

当日は、(助)全日本柔道連盟の上村春樹会長や福岡市吉田宏市長をはじめ、多数のご来賓の方々や大会役員など総勢90余名の参加があり、和やかな雰囲気でのレセプションが開催された。

山口信夫会長の挨拶に始まり吉田宏福岡市長の歓迎のことば、ご来賓の紹介と続き、昨年の開催地、須坂春樹神奈川県柔道連盟会長に感謝状の贈呈の後、藤田弘明福岡県柔道協会会長のご発声による乾杯で祝宴に入った。

会場内親睦ムードの中、来年の開催地を代表して福田二朗東京都柔道連盟会長による決意を込めたご挨拶があり、会場は一段と盛り上がりを見せた。

引き続き名残を留めつつ、橋田紘一九州実業柔道連盟会長による中締めのご挨拶で歓迎レセプションはお開きとなった。



山口信夫会長のあいさつ



吉田 宏福岡市長のあいさつ

「定時総会」開催される

第48回定時総会及び平成21年度理事会は、平成21年6月5日(金)午後4時30分から博多エクセルホテル東急舞鶴の間にて開催された。総会は29社の加盟企業中、152社の出席(委任状提出分含む)、理事会は59名の定足数中、53名(委任状提出分含む)の出席により成立。議長には阿南副会長が選出され、第1号議案から第5号議案について満場一致で承認された。

- 第1号議案 平成20年度事業報告承認の件
- 第2号議案 平成20年度収入支出決算承認の件
- 第3号議案 平成21年度事業計画承認の件
- 第4号議案 平成21年度収入支出予算承認の件
- 第5号議案 平成21・22年度役員改選の件

2009年世界柔道選手権大会 代表選手 (当連盟所属)

(男子)

60kg級	66kg級	73kg級	81kg級	90kg級
平岡拓晃 (了徳寺学園)	内柴正人 (旭化成)	大東正彦 (旭化成)	塘内将彦 (旭化成)	小野卓志 (了徳寺学園)

(女子)

48kg級	52kg級	63kg級	70kg級	78kg級	78kg超級
福見友子 (了徳寺学園)	中村美里 (三井住友海上火災保険)	上野順恵 (三井住友海上火災保険)	渡邊美奈 (コマツ)	中澤さえ (総合警備保障)	塚田真希 (総合警備保障)

○発行日 2009年7月15日 ○発行 全日本実業柔道連盟
○発行人 事務局長 郷田博史 ○印刷 ダイコロ株式会社

写真提供：(財)全日本柔道連盟